

< 報道発表資料 >

令和 8 年 8 月 14 日

京都市総合企画局総合政策室学藝衆構想推進担当

「京都学藝衆構想」の更なる展開に向けた プログラムの実施

京都では、地域の匠や語り部をはじめ、文化・産業・スポーツといった幅広い分野の担い手など、地域の方々が多彩な魅力を育んできました。「京都学藝衆構想」とは、そうした京都の多彩な魅力に多様な世代が触れ、学び、交流する「学び合い」の機会を創出する取組です。

今年度は、各局区支所はもとより、構想全体の総括・検討を担う総合企画局（学藝衆構想推進担当）においても、様々なプログラムを試行的に取り組むこととしております。

この度、市民の皆様「京都学藝衆構想」に触れていただく機会とするとともに、来年度以降の展開につなげていくため、以下のプログラムを実施します。プログラムについては、詳細が決まり次第、順次お知らせします。

<https://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000356935.html>

【概要】

< 路地文化 >

- 日 時 令和 8 年 9 月 26 日（土）
- 内 容 西陣エリアを中心に、専門家とともにまちと暮らしの歴史を感じる
京都ならではの路地の魅力を学び、巡るプログラム
- 申込期間 令和 8 年 9 月 4 日（金）から令和 8 年 9 月 18 日（金）まで
- 申込方法 申込フォームは、9 月 4 日（金）から京都市情報館に掲載します。
<https://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000356935.html>
- そ の 他 本プログラムは連続講座であり、10 月以降に 2 回目を実施する予定です。

< 歌舞伎 >

- 日 時 令和 8 年 10 月下旬
- 内 容 岡崎哲也氏（松竹株式会社顧問）と尾上菊之丞氏（日本舞踊尾上流四代目家元）による、映画『国宝』から歌舞伎と京都の文化を読み解く座談会
- 申込方法 詳細は、京都市情報館にて後日改めてご案内します。

【京都学藝衆構想とは】

京都市では、京都市民がこれからも大切にし、未来に引き継ぐべき京都の魅力や、目指すまちの将来像を示すものとして、今後 25 年間（2026 年～2050 年）の「まちの羅針盤」となる京都基本構想を、2025 年に策定しました。

この京都基本構想を具体化した政策の一つとして、「京都学藝衆構想」を以下のとおり展開していくこととしております。

- ・ 京都の魅力を実代に継承するため、多様な世代が、文化芸術、伝統芸能、伝統工芸、建築、庭園、自然、スポーツなど、京都の多彩な魅力に触れ、学び、交流する「夢中になれる学び合い」の機会を創出。
- ・ 京都の魅力に関する学び合いのプログラムを通じて、コミュニティの活性化、京都の魅力の次代への継承・新たな魅力発信につなげていく。
- ・ この京都ならではの取組を通じて、京都への愛着を醸成し、深めていただき、京都市民や国内外の人々から愛される「唯一無二のまち」を目指す。

<お問合せ先>

京都市総合企画局総合政策室学藝衆構想推進担当

電話：075-222-3061